

2 8月の見通し

野菜

「きゅうり」「なす」「ピーマン」などの果菜類の入荷量は増える。「にんじん」は北海道産の入荷が増える。北海道産が主力の「だいこん」は播種作業が滞ったことから、入荷量は少ない見込み。「ばれいしょ」は引き続き、安定した入荷が見込まれる。長く不足感のあった「たまねぎ」は北海道産の入荷が増えれば、高値が落ち着いてくると見込まれる。

野菜全体では、入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。

果実

「すいか類」「もも類」に加え、「日本なし類」「ぶどう類」の入荷が増える一方、「メロン類」は入荷が減少する。

「すいか類」は8月上旬ピークの山形県、生育順調な長野県産を中心に、前年並の入荷が見込まれ、天候にもよるが引き合いは強そう。「ぶどう類」は黒ぶどうは高温障害が懸念され、前年よりやや少なく、シャインマスカットは各産地増量の見込み。

果実全体では、入荷量、価格ともに前年をやや上回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
トマト	⇒	⇒	↘	↘↘	主産県は北海道・東北産で、出荷のピークを迎える。中旬にかけては、潤沢な出回りが見込まれる。
さといも	↘	↘↘	↗	↘	主産地は千葉県産。定植期の低温により、生育は平年に比べ3～7日程度遅れている。子芋の個数、重量ともに平年を下回っており、入荷量はやや下回る見込み。
かんしょ	↘	↘	⇒	⇒	主産地は徳島県、茨城県、千葉県産。育苗・定植期の天候不順で定植が遅れや高温・乾燥の影響により、生育の遅れもみられる。出荷量は前年並～やや下回る見込み。
日本なし	⇒	↘↘	⇒	↑↑	主産地は千葉県、茨城県、福岡県産。生育は前年並だが、小玉傾向の見込み。上旬は一部産地で出荷ピークが重なるが、旧盆需要で引き合いは強い見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	前年並: ±2%	↗, ↘	かなり高, かなり低: ±6～15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3～5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上